

No.	012	—	1025	事務事業名	畜犬管理事務				細事務事業名					公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	--------	--	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

PLAN

課名	環境保全課		係名	環境対策係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	kankyohozen@city.toon.ehime.jp				
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	一部委託		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし	
総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち			政策項目	3 環境施策の総合的推進				主要施策	(2) 自然環境の保全			
事業の対象	東温市民で犬・猫を飼っている方						根拠法令	狂犬病予防法						
事業の目的	最終的	犬を飼っている全ての市民に犬の登録、狂犬病予防注射の接種を推進し、狂犬病の発生・蔓延を防ぎます。人の生命、身体、財産を侵害することのないよう、犬・猫の正しい飼育・管理の啓発・推進を行います。					今年度	狂犬病予防集合注射の実施(5月)、動物遺棄・虐待防止及び防犯を目的とした自主防犯パトロール、狂犬病予防法に基づく野犬捕獲、狂犬病予防注射率の向上、正しい犬猫の飼い方の周知啓発活動を行います。						
活動内容	①	狂犬病予防集合注射の実施(5月に東温市内の各地区において、注射を実施)					④	犬・猫の苦情対応(苦情受付後に現地確認し、指導、所有者に対して文書でお知らせ)						
	②	狂犬病予防注射接種率向上のための周知・啓発活動(未接種犬所有者への通知)					⑤	所有者・拾得者からの犬猫の引取り						
	③	野犬捕獲業務及び死骸回収業務												
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標		
	狂犬病予防注射接種率			(集合注射頭数+個別注射頭数)/登録実頭数×100			%		目標	70	70	70		
								実績	72	68				
	不妊去勢手術補助件数			制度の普及促進のために手術実施頭数を指標としました			頭		目標	100	100	100		
								実績	71	91				
								目標						
実績														

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費	
直接事業費		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考				
	国・県支出金	5 千円		12 千円		3 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	1,490 千円		1,582 千円		1,243 千円						
	一般財源	2,788 千円		3,183 千円		2,084 千円						
	計(A)	4,283 千円		4,777 千円		3,330 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.600 人	3,613 千円	0.600 人	3,578 千円	0.600 人	3,607 千円					
	臨時職員工数・経費	0.500 人	962 千円	0.500 人	964 千円	0.500 人	987 千円					
全体事業費(A+B)		8,858 千円		9,319 千円		7,924 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	統合/終期設定	
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
必要性	現在、狂犬病は発生していませんが、蔓延防止には狂犬病注射率70パーセント以上の確保が必要だと言われています。集合注射の利用推進、広報啓発活動を行い、更なる注射率向上を図る必要があります。													
有効性	平成20年10月より犬猫引取りが有料化となり、捨犬・捨猫の増加が懸念されましたが、現在そのような傾向はありません。しかし、野犬等の苦情は継続してあるため、保健所の協力の元、捕獲器等による野犬捕獲、また動物遺棄防止のための施策に努める必要があります。													
達成度	東温市の狂犬病注射率は県内では高い水準にありますが、全国と比較すると依然として低いため、集合注射の利用推進、広報啓発活動による注射率向上を図る必要があります。													
効率性	現在、近隣市町において、民間実施の狂犬病集合注射が行われてきています。割安なため、東温市内で実施されるようになれば、市と民間実施の集合注射の二極化が予想され、人員・手段等の改善の余地が出てきます。													
当面の課題	注射に関しては実施率の向上、野犬に関しては捕獲による頭数減少が課題となっています。また、餌やりによる野良猫の増加が懸念されており、捕獲自体も猫の場合はできないため、広報・チラシでの啓発、パトロール実施・不妊去勢手術の周知や地域猫活動の推進によって野良猫の頭数減少に努める必要があります。													
改計画	注射実施率向上に関してはポスター、広報、ホームページ、回覧等による周知活動を行います。また、狂犬病予防注射を、未接種の犬がいる世帯には再通知します。野犬に関しては保健所との協力により捕獲、パトロール、看板等による呼びかけを実施します。また、犬・猫の不妊去勢手術補助事業の周知により、犬・猫の繁殖防止を企図します。													
二次評価者	環境保全課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	現状維持	
二次評価での指摘事項	安易なペットの遺棄により野犬等の対策は年々困難な状況となっています。また、野犬の苦情件数が増加する傾向にあることから、県の保健所及び地域の代表者との協働体制の連携強化を図り、捕獲の向上と遺棄防止に向けた取組を継続してください。													

No.	012	—	1026	事務事業名	環境検査・測定その他事業			細事務事業名					公的関与	4
-----	-----	---	------	-------	--------------	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

PLAN

課名	環境保全課		係名	環境対策係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	kankyohozen@city.toon.ehime.jp				
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	全部委託		実施計画	該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし	
総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち			政策項目	3 環境施策の総合的推進				主要施策	(2) 自然環境の保全			
事業の対象	東温市内の河川等、牛舎周辺地域、基幹道路周辺地域、六価クロム発生地域						根拠法令	水質汚濁防止法、悪臭防止法、騒音規制法等						
事業の目的	最終的	環境負荷の発生や汚染等状況を早期に把握し、地域環境の保全を図ります。					今年度	河川の水質調査、牛舎周辺の悪臭の測定、基幹道路周辺の騒音測定、六価クロム発生地域の観測井戸のモニタリング調査等を継続的に実施し、現況を把握することにより環境保全を図ります。また、個別の公害等の事案について、現地を調査し対策を行います。						
活動内容	①	市内32箇所の河川の水質検査の実施					④	六価クロム発生地域7箇所の観測井戸のモニタリング調査						
	②	牛舎周辺地域の悪臭測定					⑤	個別の公害苦情事案の対応						
	③	基幹道路周辺3箇所の騒音測定及び騒音状況の把握												
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標		
	河川の水質検査場所			水質の経年変化の把握			箇所	目標	32	32	32	→		
								実績	32	32				
	騒音の測定場所			基幹道路周辺の騒音状況の把握			箇所	目標	3	3	2	→		
								実績	3	3				
	六価クロム観測井戸			モニタリング調査による現状の把握			箇所	目標	7	7	7	→		
実績								7	7					

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費	
直接事業費		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考				
	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	一般財源	2,474 千円		1,709 千円		1,722 千円						
	計(A)	2,474 千円		1,709 千円		1,722 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	3,011 千円	0.500 人	2,982 千円	0.500 人	3,006 千円					
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		5,485 千円		4,691 千円		4,728 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	環境保全を図るため各種検査及び測定・調査を実施して、環境負荷の発生状況を早期に把握し、対処していく必要があります。												
有効性	環境負荷を早期に把握し、対応できます。												
達成度	計画的・継続的に各項目の検査・測定を実施しており、目標を達成しています。												
効率性	経年の状況を把握し、公害等の拡大を未然に防ぐことができます。												
当面の課題	環境検査及び測定については今後も継続して実施し、問題がある事案については早期に対処していく必要があります。												
改計画	今後も計画的・継続的に検査及び測定を実施します。												
二次評価者	環境保全課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項		計画的な検査・測定を実施し、適切な環境保全の維持に努めてください。											